

ズグロカモメ *Larus saundersi* 2005年 福井県内で初記録

柳町 邦光¹

はじめに

ズグロカモメ *Larus saundersi* は中国東北部からバイカル湖東部、ウスリー地方にかけて繁殖し、冬は中国東部の沿岸から海域まで南下して越冬する。日本では北海道から沖縄県までの沿岸各地に冬鳥として現れ、九州地方から沖縄県には比較的良好に渡来するが、他では希である。越冬地では、内湾や入江の干潟の水辺を往復飛翔して餌を探す(中村・中村1995)。ズグロカモメの体と尾は白色で、背と翼の上面は淡い青灰色である。初列風切の先端部分は黒く、白い斑点がある。冬羽は頭が白く頭頂と目の後方に黒斑があるが、夏羽では頭部分の後方まで黒くなり目の周囲の白斑が目立つ。嘴は黒色で足は暗赤色である(高野1980)。福井県における鳥類目録は「福井の鳥とけものたち」(1998. 福井県) に計18目63科317種が掲載されているが、本種は掲載されていない。2005年4月13日、坂井郡三国町川崎(現: 坂井市三国町川崎)の水田で本種1羽を確認し、福井県内で初記録となったので報告する。本種は、「改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物 - レッドデータブック - 2, 鳥類」(2002. 環境省) で絶滅危惧類 (VU) に分類指定されている。

確 認

ズグロカモメが確認された日時は、2005年4月13日午前11時ごろで、天候は晴れであった。場所は、坂井郡三国町川崎(現: 坂井市三国町川崎)地系の九頭竜川右岸河川敷にある河口から約2.5km、面積約2haの水田域内(36°12' N, 136°09' E, 海拔約1m)の水田であった。水田としては九頭竜川の最も下流域に位置しており、河川側はヨシ *Phragmites communis* 等が繁茂している水辺環境で

あった。この時期には未だ田植えの準備もなされておらず、窪みが水で満たされている湿田状態だった。

福井県の沿岸地域には干潟・干拓地は殆んど無いが、春秋の渡り時期には河口域から沿岸周辺の水田地帯に多くのシギ・チドリ類が渡来し、良い休息場・中継地となっている。この2~3年間に観察された主な種は、チュウシャクシギ *Numenius phaeopus*, アオアシシギ *Tringa nebulalia*, タカブシギ *Tringa glareola*, イソシギ *Actitis hypoleucos*, タシギ *Gallinago gallinago*, オグロシギ *Limosa limosa*, オオソリハシシギ *Limosa lapponica*, トウネン *Calidris ruficollis*, ハマシギ *Calidris alpina*, ツルシギ *Tringa erythropus*, タゲリ *Vanellus vanellus*, コチドリ *Charadrius dubius*, セイタカシギ *Himantopus himantopus*, ユリカモメ *Larus ridibundus*, カルガモ *Anas poecilorhyncha*, アマサギ *Bubulcus ibis*, アオサギ *Ardea cinerea*, コサギ *Egretta garzetta*, チュウサギ *Egretta intermedia*, ダイサギ *Egretta alba* 等であった。

4月13日は水田で採餌している夏羽の個体1羽の確認であった。ズグロカモメの頭を後方から見た場合、後頭部分の黒色が明瞭であった。初列風切の先端部分は黒くて白斑が点々に見えた。黒色の色彩については、ユリカモメでは暗褐色味の滲む黒色であるが、ズグロカモメでは純な黒色であった。嘴も黒色であった。これらの諸識別点からズグロカモメの夏羽成鳥と判断した(高野1980)。この時期、ユリカモメは周辺およびやや内陸側の水田に多数飛来していることが多く、その比較識別は容易にできた。ズグロカモメは警戒心もかなり強いようで、ユリカモメのように近づけなかった。こちらを警戒して舞い上がったが、周辺の水田上空を飛翔し3分ほどで同じ水田

1. 柳町邦光 〒918-8046 福井市運動公園1-2703 (財)日本野鳥の会福井県支部 支部長

に舞い戻って採餌していた。確認時の周辺の水田では、コサギやアオサギが採餌していた。4月15日も同じ水田で確認され、同一個体と思われた。これ以後は確認できなかった。

夏羽の個体が確認されたことは、渡り時期とは言え迷行してきたものと思われるが、今後冬期間の水田や休耕田を湛水化するなどして湿地環境の確保が必要であろう。

引用文献

高野伸二．1980．野鳥識別ハンドブック．172pp．

(財)日本野鳥の会．

中村登流・中村雅彦．1995．原色日本野鳥生態図鑑 水鳥編 ．164pp, 187pp．保育社．

福井県自然環境保全調査研究会鳥獣部会（編）.1998.

福井の鳥とけものたち．222pp．福井県．

環境省自然環境局野生生物課（編）. 2002. 改訂・

日本の絶滅のおそれのある野生生物 - レッドデータブック - 2 鳥類. 180-181pp. (財)自然環境研究センター



写真1. ズグロカモメ (2005.04.13, 三国町川崎 九頭竜川河川敷) で撮影.



写真2. ズグロカモメ (2005.04.13, 三国町川崎 九頭竜川河川敷) で撮影.

First record of Saunders' gull, *Larus saundersi*, in Fukui prefecture, 2005

Kunimitsu YANAGIMACHI¹

One Saunders' gull, *Larus saundersi*, was observed at a rice field (36 ° 12 N, 136 ° 09 E, altitude about 1 m) along the Kuzuryu River in Mikuni town, Sakai county, Fukui prefecture, on 13 and 15 April 2005. It is the first record of the species in Fukui prefecture.

1. Undokoen 1-2703, Fukui city, Fukui 918-8046